

水野先生

雨が降ったり暑い日が続いたりして、天候が安定しない日々が続いておりますが、ペアレンツキャンプの先生方皆様がいかにお過ごしでしょうか。

この度、支援を卒業いたしました。大変お世話になった水野先生以下先生方に一言お礼を申し上げたく、ペンを取りました。

約一年前のGW直前、から息子が完全に不登校になってしまった時の事を思い出します。今までの人生の中で一番高いハードルだった様に思います。学校へ行かず、家でパソコンゲームに明け暮れ、昼夜逆転、外にも出かけず、暴れて壁に穴を開けたり物を投げる暴言を吐き、物欲を加速させていく息子の様子に、にびにび辛く悲しく自分のせいで息子はこうなってしまった、だから私は絶対に

逃げてはいけませんと奮い立にせながらの毎日でした。恐らく水野先生のお支えがなければどうなっていたのかなとさえ思います。

その後の登校刺激から復学、夏休みを経て二学期からの任切り直しでの継続登校、登校が安定してきいたかなと思う間もよく受験体制への突入、塾の相談や学校説明会、高校受験と、本当に本当に如心流の様な流れで、先生のサポートに従いとにかくついていくのが精一杯でした。

始めに水野先生は仰っていましたね、うちは非常に厳しく難しいケースだと。時間的な余裕がない中で高校合格を勝ち取らなければならぬ一方で、子上位である事もあり、なかなか事務的な作業も上手く進められず、訪問の先生方にも随分とお助け頂きました。

本当に先生方にはありがとうございましたの一言では片づけられないくらいお世話になりました。心から感謝いたして

おります。

今、息子は、奇跡の合格をほにし、意気揚々と毎日

高校に通っておりまゝ。一年先の今頃には、全く想像も出来なかつた事です。まさに、父兄方のお力添えの賜と、心より感謝しております。

支援を卒業して、水野先生にお電話をする事もできなくなり、非常に不守ではあります。が、ここから父は本来の家族だけで乗り切つて行かなければなりません。今まで書ききれぬに、会話ノートとバイブルにして取り扱んでいこうと思ひます。

また親の会では、父兄に良い報告ができる様頑張つていく所存です。

本当に有難うございました。お世話になりました。父兄方、激務の中、体調など崩されませぬ様、また益々の健康と心よりお祈り申し上げます。

七月十一日